

8 人々の生活と宗教の関わり

○生活や文化とかかわりが深い宗教

<世界の宗教別人口の割合(2016)>

世界に広く分布する宗教

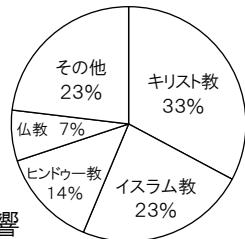
(***):キリスト教、イスラム教、仏教

特定の民族・地域と結びつきが強い宗教

(**)、(*), 神道(日本)など

→衣食住や生活習慣、季節的な行事や祭り、人間の生き方や考え方方に影響

→宗教の考え方の違いから、時に国や民族の争いにつながる場合もある



○世界の宗教

(***):1世紀ごろにイエス・キリストの教えをもとに成立した宗教のこと

分布:ヨーロッパから南北アメリカ・オセアニアなど

教典:聖書(旧約聖書と新約聖書)

[クリスマス(キリストの誕生を祝う日)やイースター(キリストの復活を祝う日)などが最大の祝日

[日曜日は安息日で、教会に集まる

(***):7世紀にムハンマドがアラビア半島で開いた宗教のこと

分布:西アジア中心、アフリカの北部から中央アジア・東南アジアなど

教典:コーラン

[酒を飲むことや豚肉を食べることは禁止

[休日の金曜日にモスク(礼拝堂)に入々が集まり、一斉に祈りをささげる

[1日に5回、聖地であるメッカに向かって礼拝を行う

[イスラム暦の9月に約1か月(ルルル)を行い、日中は飲食をしない

(***):紀元前5世紀ごろにシャカがインドで開いた宗教のこと

分布:主に東南アジア・東アジアなど

[日本には中国や朝鮮半島を通して広がる

[寺院の建築や仏像などの彫刻、絵画、文学などに影響

○ヒンドゥー教とインドの人々の生活

(**):インドで広く信仰されている宗教のこと

[()と呼ばれる身分制度によって、職業や結婚の範囲が限定される

[→現在ではカーストによる差別を憲法で禁止

[牛は神聖な動物と考えられているので、牛肉を食べない

[肉を食べない菜食主義を守る人がいる→鶏肉と野菜を中心とした料理を提供する店が多い